

平成25年4月10日

関係各機関の長 殿

新潟大学教育研究院医歯学系長 高 橋 姿
(公印省略)

新潟大学歯学部長 前 田 健 康
(公印省略)

微生物感染症学分野教員（助教）の公募について（依頼）

拝 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本学系では、下記要領により専任教員を公募することといたしましたので、関係者へ周知くださるようお願いいたします。

敬具

記

- 1 所 属 教育研究院医歯学系
- 2 担当学部・研究科 歯学部・大学院医歯学総合研究科
- 3 職種・人員 助教・1名
- 4 採用予定日 平成25年7月1日以降のできるだけ早い時期
- 5 任 期 5年（再任可）
- 6 給 与 国立大学法人新潟大学職員給与規程による。
- 7 職務内容 1）微生物感染症学に関する研究
2）学部学生に対する微生物学・口腔微生物学・免疫学の教育
3）大学院生に対する微生物感染症学の教育
- 8 応募資格 以下の条件をすべて満たす者
 - 1）博士の学位を有する者
 - 2）微生物感染症学（特に細菌学）に関する優れた研究業績を有する者※ 当該分野の教育経験を有することが望ましい。

9 応募書類 別紙「記載要項」を参照のこと。

※ 応募書類の要項および様式は以下から、ダウンロードできます。

<http://www.dent.niigata-u.ac.jp/koubo/>

※ 応募書類は返却しませんのでご承知おきください。

10 応募の締め切り 平成25年4月26日（金）必着

11 選考方法 応募書類により選考を行い、必要に応じ面接等を行う。

12 応募書類の請求及び送付先

（送付先）〒 951－8514

新潟市中央区学校町通二番町5274番地

新潟大学医歯学系歯学部事務室総務係

（封筒の表に「微生物感染症学分野教員公募関係書類在中」と朱書のこと）

※ 新潟大学では、男女共同参画推進室を設置し男女共同参画の視点に立った教育・研究・就業環境の整備を推進しており、教員公募においても女性の積極的な応募を歓迎します。

（男女共同参画推進室URL <http://niigata-u.ac.jp/geo/index.html>）

（問合せ先） 新潟大学 医歯学総合研究科・歯学部 微生物感染症学分野

教授 寺尾 豊（E-mail: terao@dent.niigata-u.ac.jp）

新潟大学 大学院医歯学総合研究科・歯学部 微生物感染症学分野 助教公募書類の記載要項

I. 略歴書 (別紙様式I)

- 1 A4版の上質紙に印刷すること。
- 2 学歴欄には、高等学校卒業以降の学歴を記入すること。
- 3 学位に関しては、学位名と（ ）書きで授与された大学名を記し、学位記の写しを添付すること。
- 4 免許欄には、医師免許・歯科医師免許・薬剤師免許等の種別と（ ）書きで授与された年月日と免許番号を併記すること。なお、その資格証書の写しを添付すること。
- 5 職歴欄には、所属の講座、診療科名等も記入すること。
- 6 授与された学会賞については、賞の名称、授与学会名および授与年月日を記入すること。

II. 業績目録

A4版の上質紙に以下の順序で記入すること。なお、業績には全てにわたる通し番号を付するものとする。

1. 原著 (学術論文)、総説、紀要、症例報告

次の区分で、先ず英(欧)文論文、次いで邦文論文の順序で記載する。

(1) 原著 (学術論文)

年代順に、通し番号、著者全員の氏名(英文の場合は、名はイニシャル)、発行年(西暦)、論文タイトル名、雑誌名、巻、ページ(始めと終わり)の順で記載し、本人の名前にアンダーラインを引き、corresponding authorに*印を付すこと。また、最後に最新版のImpact Factor (IF) および IFの年度を記載すること。掲載前の論文については、掲載証明のあるものを除き記載しないこと。なお、掲載証明を添付すること。また、未刊行およびオンラインでのみ公表されている場合は、URLアドレスもしくはDOI (Digital Object Identifier) 番号を記載すること。

【記載例】

35. Mori, Y., Yamaguchi, M., Terao, Y*, Hamada, S., Ooshima, T., and Kawabata, S.: α -enolase of *Streptococcus pneumoniae* induces formation of neutrophil extracellular traps. ***J. Biol. Chem.***, **287**: 10472–10481, 2012. (IF: 5.328, 2010年度版).

(2) 総説、紀要、症例報告

それぞれを小項目に分け、前記の「原著」に準じて記載すること。

2. 著書

(1) 編著書の場合

編著者名、発行年(西暦)、書名、発行社名、発行地、総ページ数を記載すること。

(2) 単行本への寄稿論文の場合

執筆者名、発行年(西暦)、論文タイトル名、著書名(編者名)、発行社名、発行地、掲載ページ(始めと終わり)を記載すること。

3. 翻訳書

前記の「著書」に準じて記入のこと。ただし、原著の書名、著者名、発行所名、発行地名も併記すること。

III. 学術論文の別刷

業績目録中の主要論文3遍の該当番号に○印を付し、その別刷各1部（コピー可）を添付すること。

IV. 科学研究費補助金・各種研究助成金等外部資金の獲得・受領状況（別紙様式2）

- (1) 平成19年度以降の獲得状況を直接経費、間接経費に分け記載すること。
- (2) 平成18年度以前からの継続で、平成19年度以降に終了の研究助成金等についても記載すること。その場合、獲得金額は平成14年度以降の金額を記載すること。
- (3) 分担者としての助成金については、分担者として助成金を直接受領した場合のみ記載し、その分担金を記載すること。
- (4) 記載欄が不足する場合は、必要に応じて用紙を追加すること。

V. 学会発表目録

A4版の上質紙に平成19年度以降のものを、招待発表（特別講演、シンポジウム等）と一般発表に分け記載すること。それぞれ年代順に通し番号を付け、発表者全員の氏名（英文の場合、名はイニシャル）、発表演題名、学会名、発表年月日、開催地名を記載し、本人の名前にアンダーラインを引くこと。

VI. 現在までの主な研究、教育の内容

A4判の上質紙に2,000字程度で要約し、担当した授業の科目（項目・単元名も附記のこと）、大学院生の学位指導内容と実績（指導した学生の人数、学会賞や奨学金の取得状況）等も具体的に記載すること。

VII. 特許等の取得および出願状況

VIII. 推薦状がある場合は1通（ただし推薦者は個人に限る）

以上

略 歴 書

平成 年 月 日現在

ふりがな		印
氏 名		
年 月 日生 (満 歳)		男 ・ 女
現 住 所		電話
		e-mail
勤 務 先		電話
		e-mail



年	月	日	学歴，職歴，免許，賞罰など（各別にまとめて書く）
			(学歴)
昭和〇〇	〇〇	〇〇	〇〇県立〇〇高等学校 入学
〇〇	〇〇	〇〇	同上 卒業
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 入学
〇〇	〇〇	〇〇	同上 卒業
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇大学大学院〇〇学研究科 入学
〇〇	〇〇	〇〇	同上 修了 あるいは 単位取得満期退学
			(職歴)
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇大学〇〇病院〇〇科に於て実地研修
〇〇	〇〇	〇〇	同上終了
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇病院勤務
〇〇	〇〇	〇〇	同上辞職
			(免許)
〇〇	〇〇	〇〇	歯科医師免許証第〇〇〇〇〇〇号
〇〇	〇〇	〇〇	歯学博士（〇〇大学）（第〇〇〇〇〇〇号）
			(賞罰)
〇〇	〇〇	〇〇	第〇〇回〇〇賞受賞（〇〇学会、平成〇〇年〇〇月〇〇日）
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇財団〇〇奨学賞受賞（平成〇〇年〇〇月〇〇日）

(別紙様式 2)

科学研究費補助金・各種研究助成金等の獲得状況

氏 名

(平成 年 月 日 現在)

[illegible]

直接経費総額：研究代表者分

千円

直接経費総額：研究分担者分

千円

(研究者が分担者として直接受領した金額)